日

改正案は

僅に五分間で散會

府職は奥藍の稲田の東京二十

一き論じ、次に森田氏は大臣全部を作らならの主て外交官の職能につ

七

安達內相 労働組合法案は提 出準備中である、事業家組合法 に 案提出は考へてゐない、こかし を提出は考してゐない。こかし 

東第一なりで航時。最も有 東第一なりで航時。最も有 東第一なりで航時。最も有 **承議院豫算總會** 

衆議院肇算總會は幾多の六日發電班』第五十九議 一である、先づ委託長式内作平書献 の 會の静か述べ委託會献會分称會議 前 に主意、質問願序につき認つた上 武内委員長 これより會議 を開き 不、 個各特別會計議人議出建像第案 一、 個各特別會計議人議出建像第案 一、 個各特別會計議人議出建像第案 一、 個各特別會計議人議出建像第案 一、 個各特別會計議人議出建像第案

審議未了を懸念

選擧法案の論點

車通」民政職は「今議會」

発生に選

年齢の折衷案擡頭

に入つた 衆議院と呼應して

市外二萬六十三月

滿鐵炭礦部

石炭受拂成績

廿日に至る十日間の石炭受渉破影 満銭炭礦部豪 表の一月十一日より

民政署調査による

八名の増加であるさ

内地人は九萬六千人

八增加

や異常な勢びで

翌日がある事を つてしそんな玄

大津會議の

1

山西の實情を

西將領連名で通

四軍の將領間に不滿の聲が

の出入機能が安心して出入り、無税の契陽さは?要するに多

事さて一で動きがされなくなり 事さて一で動きがされなくなり できちらかさいふさ破告の立場 である程が質行を載の人選其他 は

十河理事明朝歸連

**千五百萬金留を削減し四千萬金留** 道本年度像算は人性質その他で二人のルビン特體廿六日發】東支鐵 明年豫算 **ル滿場一致可決午後六時記會した** 一、社會民衆黨を支持すること 塚本長官 四千萬金留計上 廿八日東京簽

▲赤坊を幸福にする名前の附方本本・大きなの間に合はぬ時の手當法・大きな表に育てる方法・大きなの間に合はぬ時の手當法・大きないのである。 子の の無い木坊の一門で方

男女見を自由に産む法 費用のいらぬお声の方は 、惟夢子供。產法 まるときに関るものはありまとう方法

、支那を続て 雨つながら 日 支國交 東洋の安危、

政府に等し。是れ日安國交が、 のみなら 、極めて深きものあれ

森田福市氏が

各大臣

IV.

つ當り

說

問

刊

日六十二月-

二 额 口 向 人 領 編 截 太 座 下 自 人 副 母 地帯一角町間全原市温大 監報日 別 稿社 食 或 祿 斯柯蘭

9

傍聽席は五分通り女學生で占領

貴族院本會議(井六日)

最も問題さなるべきは満世蔵に選るものと動徐して

問題分散を避け

集中主義を採る

政友會の對議會策

観さ云つたされば、我國民 際の外を然ら 部で相対 の言語が の言語が

く或は二十三歳位の折衷院にては根常の論議を発 一よりの鎌貫地會 下で野鷲さんての **紫質總會棚共に配**短されるので見ら

登壇し一間一答によ なりを強な見るべ をの登出を見るべ をの登出を見るべ 波瀾を生むであら 

議院の空氣の 十一時四十分就會心 要出家の彩電に進める事に申合せ

『東京二十六日発電迪』二十六日 で の豫算總會において豫算委就會順 等を左の城く決定した 二十六日から二月二日で總會質 豫算委員會 二月十日まで

雲米通】民政黨以二 点總務會

院に反映留意

政府今後の對議會策

月三日から七日まで五日間分 **鷲事者は語ってゐた** 農民組合

政友幹部會 東京二十六日 後電田本農民 整系) こ日本農民総合(毎日本農民 整系) こ日本農民総合(毎日本農民 整系) この合同大會に二十五日 芝協 画會館にて、一方、日本農民總同盟(社會民 整系) このか二十五日午後四時から芝園社 た 民館で大會を開き 一、日本農民總同盟と右 製農氏組合の結らまで邁進し右 製農氏組合の結らまで邁進し右 製農氏組合の結らまで邁進し右 製農氏組合の結らまで邁進し右 製農氏組合の結らまで邁進し右 製農氏組合の結らまで適進し右 製農氏組合の結らまで適進し右 製農氏組合のおりに対して、日本農民總同盟との合同に飽くまで適進し右 製造ので沙に入る 大會決議

夏六年郑裴子來朝 夏六年郑裴子來朝 夏六年郑裴子來朝 夏六年郑裴子來朝 聚入州來冬大零 吳入州來冬大零 吳入州來冬大零 吳入州來冬大零 學人來歷內子使召伯錫公命 宋公衛侯鄉伯曾伯 完公會管依衛侯子·沙澤

これから起り。一般は である。そうして のである。そうして とり其味力の成功 に同様の密路な壁む といれ、平等に ではない。 最近著るしく國際には、同國首 

貴院資格審查

正副委員長

で多少の高种は恐んで覧いたいさ 気の帯な人の熱源に當て、ゐるの 無面利子はより以上 元本共産金の職面利子はより以上 元本共産金の職面利子はより以上

漢 碑 斷 拓

用用機模良氏、融い全部公製は大艦・帯がで孫氏も安堵か。 妊娠。早v知

す。特に初館の若い要様がの間に大

大觀小觀 必ず安産る方法 一定價は平常通りの五十銭にならでもわかる一環は、何度に行つても大人ではならでもわかる一環には、何度に行つても大人ではならでものでものかる一環には、何度に行っても大人では、一定價は平常通りの五十銭 百頁の別 球つきでし

共濟會融通金

利下げは不可能

0

約四萬圓缺損増加のため

滿鐵共濟會當事者談

▲林正春氏〈滿綴石炭課☆〉 扁桃 映炎にて自宅療養中のごころ全

展版の混きがある。

で てるる、なほ炭礦貯炭(中央貯炭のである、なほ炭礦貯炭(中央貯炭のである、なほ炭礦貯炭(中央貯炭のである。 サー萬五千八百六十二順にて

中 のさ見られてゐる でも見られてゐる ではの歌歌を増したがためによるもでは、 こも見るべき本年一月に入りてよ

であるが、森に地質の最盛需要抑してあるが、森に地質との一般実界で観して中本の一般実界で観しました。

何から 何まで

切わか

出産が 五十錢 文部省認定 (給入 東京神田駿河臺(銀香) 學言

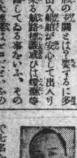
廿七日(北西の馬)睛

各地温度

天祭和

全愛讀者《無料贈呈

新令 【東京二十六日養電通】 本日左の総会養姿さる 大使館二等書記官



會明け

當日の

議會

総天皇記四道將軍養邀の條」につき領邀籌時ともれて出回、國書御邀議の黒破城士「日本

取炭國民會議は幹部を無條供に顆斑すること及び國民會議執行委員會の不法地分を政治すべディリー廿五日愛電道」即度機督アーウイン種は二十五日反英運動のため意義されたガンデ

執行委員會の不法處分を取消す

印度總督聲明書發表

御講書始の儀

けふ宮中鳳凰間にて

嚴かに行はせらる

を全 十六日午前十時より営中 原京二十六日登電通 新年最後の御後御歌書始めの後は

後関車のみが駐走し銀織に信した第八二列車は四平統化弦

時に第一六碗車が膨緩事がを要生した。 一大碗車が膨緩事がなる、一大碗車には長粉、 一大碗車には長粉、 一下碗車には長粉、 一下碗車には長粉、 一大碗車には長粉、 一大碗車には長粉、 一大碗車には長粉、 一大碗車が膨緩事がを要せる。 一大碗車が膨緩事がを要生し

小幸中の幸ひ

# の軌條を取外 の顛覆を企

四平街南方、 廟子江附近に

競技機器は本年八月東京に於て日 の順答を寄せて料にので1を践ら『東京二十六月数電記』日本水上 | 體育協會は本日これに聴諾する旨

がその技た。ふ水上大會にいよい

醫大軍優勝す

對工専ホッケー

一十二時長春發第一六列車(二、三等一十二時長春發第一六列車(二、三等 能は上上の機能を上本を取り出して常軍能数を終てたらので、位馬 賊 圏 は二十の馬賊が十数強の拳銃を強射して逃走すらしる薬剤には使き淤部なかっは免かれたが上下線とも閉塞らた、耐してこの 脱線事故と同時に斜したゝの機。士は直ちに運轉を停止せしめ、幸ひ脱線だけ常子江 (大連地総五八七粁五四〇代芝) 附近に差し懸った際、機關車が著一十三時五十分四平街驛を發車した上り第八二貨物列車 (機關車の多数) 八七列重機關車な蛟繆のため現場に聽送する一だ。第四三列車に羁天よりとしい。倒は滿歳では事故養生と同時に四平街より就緩機關車に非常列車 く、旅順に於てし着るしく凝破を 地流より耐火を使めついある流行 を感情になか/一終版の棒擦しな 告するこ共に午前九時中より部長 「探徐殿を蒙してゐたが、アメリカ」れることに決定したて鈴木次長は事性一切を重徴に報 「既に昨年アメリカ際家の電子歌し」よ八月ごろ飛宮アー・の脱線事故を時務候題を重大歌し

旅順の兩小學校逐に

週間臨時休業す

益々猛威を揮ふ流感

## 四洮、錦朝兩線襲擊 仕業か

滿鐵は勿論、軍部や關東『側も 事件を頗る重大視

下り続は二十六日五時四十五分、とり続は二十六日五時四十五分、 脱線現場は復奮工事を急いだため

善後策協議

十四分それで、運延して双脚子を二十三分、第二五列車は二時間三

鈴木次長ら

て列車の職権を闘り旅客が悪

ふ釋放される

氏

観してゐる

李叔

膀胱事を養性により作二三列車は別項第八二列車(機関車のみ)の

谷列車と り遅延

に於ける第八二列車(機関車車走) 幣見童百六十八名である。各小學 満続々消部では紅牛噌、四平川園 難見童九百六十七名に黙し權頼続

九名採用に

志願者百名突破

目を廻す大連市役所

日より一週間臨時候業を要表した 一名、第二小學校は百二十七 意數は左の通りである 佐町五二、沙河口六二、秋月五ため脈小學校ではいよく二十七 八、合計三三九 大り墨一一九、西國子四八、土 大大・合計三三九 人港豫定船

廿三日旅順第一小學校は百

巾内小學校の

流感益々猖獗

公學堂にも蔓延す

荒天で遅る

ロニー〇、日 一五、松林八 一道前一二〇、日

日人港議立戦はいづれも悪れた北風に廿六年前七時代落りを整大が、 日人港議立戦はいづれも悪れた北風に廿六年前七時代落外着豫立の内地定 二十分に變更を見た一方上海定事 の旨師電が入ったその他一連、會 の旨師電が入ったその他一連、會 の旨師電が入ったその他一連、會 の旨師電が入ったその他一連、會

けふ大連の温度は

つて既に下り大連は「と岩語山の観測所では草つてぬた 二、三日は寒さが續く

犯人か 旅順ホテルの

対句をならべて三国線を強奪した 廿二日夜旅艇ホテルに准り込み底

新年號で阿然人象を獲出して大人類 的い大震物のみな道歌して大人類 の大震物のみな道歌して大人類 人氣は「富士」へ へ属け出でた

を 中であったが、昨夜小蔵子が嘘とを 中であったが、昨夜小蔵子と 同が嘘から 間が できる では いまれば と 一 では いまれば と 一 では いまれば と 一 では いまれば と 一 で は いまれば と で は に ないまれば と で は に ままれば と に ままれば と で は に ままれば と に ままれば と で 山城で古氏来で人より追憶會要世人に宛て「盛大なる追憶會とお儲したってなる追憶會をお儲している。」と歌歌から謝電が来たさ

| 大連女子職業學校では二月一日午 前九時より同校講堂に於て第八回 全流洲珠算院技會を催すさ 全滿洲珠算競技會

毎日の

突如

名

書を

不意の不意の

巡査が

安東洪水「疾病保險に於ける陰真一郎「羅案に對する骸の作用」真一郎「羅案に對する骸の作用」真一郎「最正鑑定例の二三二後籐

滿連

員日

発官後、生活費ご遊興費に窮し

公逐に起訴さる

を では世八日午後零時より同器派 では世八日午後零時より同器派 では世八日午後零時より同器派 の事、申込は漢速町大谷支圧田淵で開催、會毀二町五十錢常日持縁 してゐた京都府人會を再興し來る してゐた京都府人會を再興し來る

は佐願党館の称式で機能された表面は佐願党館の称式で機能されたるる、 党館後は妻の私に追び隊と窓に変里の福に 脂酸司令官三浦 P務 質會を開催すべく當 質を開催すべく當 ので、企業を表れ高田友別

柳水を果會計

窓に概水は大連點に

た、其後演出は

第最々道部総理課題がR及び財産 議議々道部総理課題がR及び財産 は二十七日より監すり 地位 のでは、 ので

通取締當時

て臨場するこころあつた、なほ一打合せを得ふ響であるさ 支那汽船北 で坐洲 號龍口の

各課長を集めその善後策につ

世三日午後第 中、折からの時化のたと離り東方紋四浬の地監 ない蒸汽率天鬼は現場でれ、選挙に乗上げた智 早前二時一たん弱

日米 Nin競技

今夏東京で開催

米國體協應諾の回答

ら貧傷

lđ 信

用

電氣並利用

大学の要求

秩父丸時化られ

井上匡四郎子

帝四国の洋の行

戦に 共産黨事件の 判決言渡し

全滿氷上選手權大會 根壁らずの喧嘩振りで極東者を出てなり日下部繁焼長より最高製役 

果氏影覧の下に開始七時十分から醫大コ

金工工

主義ホッケー決勝戦

鍋島秘書 恐喝犯人

七二五、一

、一九の映植に付訂正す。一九の映植に付訂正す、一九さあるは二、七一一産ノ部派貸出金二、七一一産ノ部派貸出金二、七一一

正誤

・ 一分盤大木下右 大庄司のパス林受 十三分庄司自陣よ 十三分庄司自陣よ 大下右

で一性書館されに送嗣されたで一性書館されに近れて大連署に能へられた村松天禄の一味、市内西公園町一七四番州後殿光峰(こ)は千栗市波虫佐の駐職、大連署に推へられた村松天禄の一味、市内西公園町一七四番州後 けふ送局さる

·四度六

中後三時より同四時までの間に妻 キクエが入浴のため外出中、施錠 ・ な焼入塩(貸格二百個)を窃取 かを競入塩(貸格二百個)を窃取 殿山下庭布衛門Clubなでは廿五日 四門入九高電天の心養電所工称縣

キューニー 14-ズ



હ



日

@ 破格 料 金に 會 葬 T ドンス、羽二重 新柄ケンチユウ 毛紋ちり 御 解 禮 安

院醫富

名犬リンチン・チン主演 ユードのレヴュウ子 進 実 進 禮 階下 放解 連日大人滿員御禮として特 天然色テクニックカラー發撃版 エリック・>・ストロンハイム主演 る

廿六日より

週名



民謠舞踊 一行**四家**蝶 九 行**他** 高級萬歲 養 養 妻 大 相應しきものであります。 の豫防は百の治療に優る 供湖中込次第型録進呈 東郷義竹 射えて奏効絶對であります。一般慮弱見重に適し殊に小兄の佝僂病檃防に腰 演應症 內外科、皮膚科、婦人科並に線病疾及 演出接後

男女陰部の毛虱を 器 本器の紫外線放射量は夏期太陽の約二倍を有 しその價格の低廉と取扱の簡便從來品を斷然 リードせるものにて一般御家庭向として最も 入工紫外光線放射景 バイタライトランプ

院醫井

番九五八四話電

栈公荥德 <sup>顶借二丁七町建浪</sup> 家

讀者 半額 優待券

· 演者 半額 優待 券

**夛少に拘らず御用命願** 

の役割さんさ一緒なので、

紅鹿のうち 紅鹿のうち

現代関作品主義者は歌川絹枝で宮城市

が三味線がない▲延繁龍師は

伊

勢町

名物に うまいものあり

林洋行の

羊羹

悪はいつもの落ちつきな取段

き Ó

た。 僧子游人や物ごりのほしい好」「娘さん!大きな気を立てなさん

大社した近く第一睡代記を振る響 はこの穏松竹キネマ京都撮影所に はこの穏松竹キネマ京都撮影所に

の正配解笑で儲ける

料の中観で見せるこピラを撒いた

▲これた戦してまた大日活が常盤

たのに野越も紫磐座は東館の入場通り▲大日話が廿四日から封切し

大林梅子松竹へ

月十二日一門をथるて來連するここに決定した【寫真は、虎丸』目見得せの漢曲家のうち最も難綜されてゐた監世藍成此が愈々二目見得せの漢曲家のうち最も難綜されてゐた監世藍成此が愈々二

売を称して、四邊へ氣兼れする

野機人士を終めた本紙連載中の映 をかとア舞跳響も対響で特に少年 をかとア舞跳響も対響で特に少年 をかとア舞跳響も対響で特に少年 のチャールストンが場系を壊して ののではに少年

菊粹會を聽く

寒。突如にカッさ一葉の前へ突ッへばりついてゐたほとい類流りのへばりついてゐたほとい類流りの

知らわお前さんな、家へ引き

野き流し、吹雪の中へ身を入れて 番線が半開き、後から無道ふ葉を をから無道ふ葉を 一葉は眼に一杯、腰を流て見送ついた。男の姿が見えなくなるまで てさり、それだから差し郷へてあたのでこせえますよ。だがれえー

さ、色を受へる程に情気さした。

一葉もいつ

とでと演藝

臥龍篇好評

盛況を呈する浪速館

二十四日は、電十二時半)関イド・ロイド・ロイド・東京 地 第一子一社特作無撃版 建 進 突 進

佐々木味津三一の本年度 はまずせい。人御利用下さい は流り調者優待中額券が出て 本週は流り調者優待中額券が出て 本週は流り調者優待中額券が出て 大週は流り調者優待中額券が出て

大公開

十二日ムリ十八日 迄公開 に本者はなど泣くか」の作者 佐藤紅線原作 佐本永恒矢郎記督下ロコ 一十二日よりお待 市川右太衛門アロダク 作品 一番映曲演列の巨人 一番出類の巨人質 人桃中軒清雲 正宗 クション超特 賭けて

共に世界第一の

名聲に全く背か

ず

意風

二三四五六七八九十二三三古

### FREAN

RB

### 弊局製劑 **特製**風藥、噯藥 蒸餾水は南日採館じて居 全安が高築るあ用信は薬

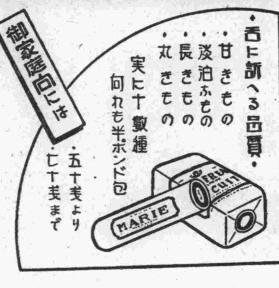
気は光が

すさいふので岩崎府主人へ地を鶴

ふこさに遺憾ながら二つ返事で強んで来た▲さころがコノ情元さい

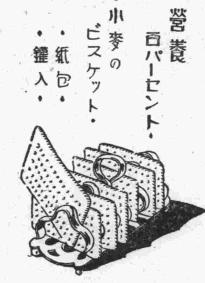
長きもの 滿洲總代理店 Ħ 丸 きもの きもの 林泽

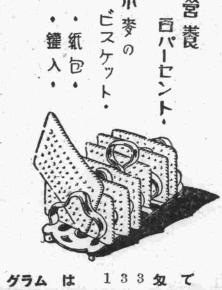
西店 (来達) 電九八八八





凍傷防備薬





歴能に伴奏する 味覺をダンスし ・壱円位より四円追 平和と愛の贈物・ 各種·

本年度第 スケツ 新荷着

クフリーンの 嗜好界をリードする

25 sen 45 sen

赤ぎれ レ上 鏡をり後 中 をり後 下 ス・存みかたる 在界中の

節はウラベラミレフラルの 实质的砷贈答品



米穀商の本地の本土の本土の 摩洋行



御用酒 聲譽秀天涯 宗 電話し〇四二番

北京料理

活動の促進となる 健康者は如何なる寒さにも常に春の如く

患者は病苦を忘れ 好評 好 評

有利な地位

V

立つた満鐵硫安

内地販賣業者の目標

日

漁業打開策協議

海業界の不振、鑑安による線手等 において旅大の組合員並びに漁業 により関東州漁業組合ではこれが 関係者豪集不景瀬打開策につき協 野家につき機成中であるが來るサ 関係者豪集不景瀬打開策につき協 漁業組合ご關係者が

が、 ちない、その理由は撤保衛の心しくない、その理由は撤保衛の心 の動脈ないのであることが出来でして脱骨が、 を関することが出来でして呼時にても を関することが出来でして呼時にても を関することが出来でして呼時にても を関係によるを関係には、所有者を をして好くと、所有者を をしてが、所有者を をできる。このである。 に着り、所有者を をできる。 でする。 でが、 をできる。 できる。 できる。

國主佛國主で世界監監用金の五部 に対けるが適場のやうだ。現に米 では、観な就付けるよりも、金を はない。酸に支那のために認るない。酸の採用を希認してある。その欲 まするこうは金であって、銀でまれるこうは金であって、銀でまれい側段政府は、風に金本位

般銀行業務確實に御取扱可申候電話 

振替大連二四番 

中 金 (銀勘定)

日本向参着質(銀賣) 空間空

日本向参着質(銀賣) 空間空

上海向参着質(銀賣) 空間空

上海向参着質(銀賣) 空間空

上海向参着質(銀賣) 空間空

上海向参着質(銀賣) 空間空

上海向参着質(銀賣) 空間空

一 全 (金勘定)

「一 十 1 排質(同) 三の片大分型
「一 十 1 排質(同) 三の片大分型
「一 十 1 計算(同) 三の片大分型
「一 十 1 計算(同) 三の片大分型
「一 十 1 計算(同) 三の片大分型
同六十 1 排質(同) 三の片大分型
同六十 1 排質(同) 三の片大分型
同六十 1 計算(同) 三の月大分型
同十 1 計算(同) 三の月大の一 

- 簡單致升手

滿鐵産の硫安に向ふ

即ち右改正により軍に職職加里に

**着雕陸料金 大連埠頭休日** 滿鐵で引下ぐ

そんな疑惧がないでもな

であるが果してでいまして であるが果してでいましてであるが果して であるが果して であるが果して であるが果して であるが果して

さうかが職職である會社 遊売事故合名會社 遊売事故合名會社 変ではる職級江労廳

市

では、大連単頭における流域の低日産際における流域では今、 を表慮した結果では金が成数では今、 ででは、大連単頭における流域の低日産際が発動が多数は金が高端ので流域では今が高端では今が高端では今が高端では今に流域では今に流域では今に一下では今にでいる。

世話六二六

**海 (株式 大連商業銀行** 大連市西通 (株込海)

内緊部及港内緊留を診可すること と難ら使寒完全にして深脅局長に と難ら使寒完全にして深脅局長に というなる場合は港

◆・大連だけてみ 本調に単純六千 をである。 をであるが支那の他がである。

とされないで組織してある。 観像のとされないで組織してある。 観像の

大豆り物

綿糸弱保合

組織と機能

動産信用機關

農業金融機關の

(日曜火)

二つに贈着するらしい。

本年子月三十日送上編出場と 四十番手 二二四〇〇個 数地高た入れて氣壁影かり指摘を に未だ製出せず本年製系の箸 は未だ製出せず本年製系の箸 は未だ製出せず本年製系の箸 は未だ製出せず本年製系の箸 は未だ製出せず本年製系の箸 は未だ製出せず本年製系の箸 は未だ製出せず本年製系の箸 を從つて多く七百四十一車に塗し たが起稿と及大配高に伴つて強く たが起稿と及大配高に伴つて強く たが起稿と変表する。 の手行四十番 二三四、二八〇個 類を呈し十一萬七千枚の手合があ り豆油高葉は平調大引したが大豆 の野神音学は不成の手合があ の野神音学は、エーベの手合があ の野神音学は、エーベの手合があ の野神音学は、エーベルー車に塗したが大豆 の野神音学は、エーベルー車に塗したが大豆 の野神音学は、エーベルー車に変したが大豆 の野神音学は、エーベルー車に変したが大豆 の野神音学は、エーベルー車に変したが大豆 の野神音学は、エーベルー車に変したが大豆 の野神音学は、エーベルー車に変したが大豆 の野神音学は、エーベルー車に変したが大豆 の野神音学は、エーベルー車に変したが大豆 の野神音学がありまた。 の野神音学は、エーベルー車に変したが大豆 の野神音学は、エーベルー車に変したが大豆 の野神音学は、エーベルー車に変したが大豆 の野神音学は、エーベルー車に変したが大豆 の野神音学がありた。 の野神音学は、エーベルー車に変した。 の野神音学がありまた。 の野神音学がありまた。 の野神音学がありまた。 の野神音学がありまた。 の野神音学を表した。 の野神音学は、一葉を表した。 の野神音学は、一葉を表した。 の野神音学を表した。 の野神音学は、一葉を表した。 の野神音学を表した。 昻騰し活況

(四)

紀州蜜柑の輸

綿糸増加

戦するとさし其筋の認可を受けた

裏心それを希つて

大豆、高粱

銀安、不況、輸入税の増徴に

豫想の三分一止まり

當て

が

が公職の政府の電信が、 ・まで踏み込むが ・まで踏み込むが、 ・まで踏み込むが、 ・まで踏み込むが、 ・まで踏み込むが、 ・まで踏み込むが、 ・まで踏み込むが、 ・まで踏み込むが、 ・まで踏み込むが、 ・まで踏み込むが、 ・までいる。 ・までは、 ・まで

農業金融 審重に考究中 野し、魔な見込み をなななな見込み 

は、 上海 (高) 末日 上 中 (本) と (本) と

糸

上海標金

るからい我を要すべきださ思ふ

制限數量を緩和

大連海運業聯合會の要請で

加騰二百五車の買戻した始めこし義順生七十五車、昇源三十五車、松昌源、廣源泰各三十車の買物があり賣方では開新昌六十五車、三井四十五車、双庄五十車、三井四十五車、東合公三十五車、日本棉花三十車等の賣物であった

取扱規則一部改正

+

七

=

無大東海峡地震館の場 なつた

カ。 には、いふだけ野森 大変所に観を覚付け 大変所に観を覚付け で、いふだけ野森

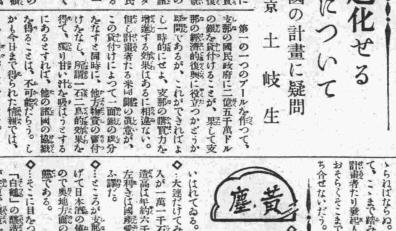
七一八兩五七一八兩五七一八兩五 

花

三二 前期 き き る 引 

第一條の規定に依ろに非れば尚 第一條の規定に依ろに非れば尚 後するここを得す、但も包裝完 をにして制限數量な超過したる時を と、は単頭に限り積卸を計可する と、は単頭に限り積卸を計可する と、は単頭に限り積卸を計可する と、は単頭に限り積卸を計可する と、は単頭に限り積卸を計可する と、は単頭に限り積卸を計可する と、は単頭に限り積卸を計可する と、は地頭を設めたるときは書談所 が同に報告すべきものとす とて大連灌に全然陸揚で高度物は が同に報告すべきものとす とであるでして適當なる場 のは包裝完全にして適當なる場 のは包裝完全にして適當なる場 のは包装完全にして適當なる場 でしたることを得す、但も薄務局 とのますす。

國際問題化せ 銀對策について 米國の計畫に疑問



で大連な合せて さ大連な合せて さ大連な合せて

操作至便!

東京市牛込區早稻田鶴卷町三〇三

會社

りせん見せる

サ六日間会しながら早くもいやが に決まつてゐるに極もからね」さ

在フメリカ商業會議所で連絡

とついわり、既改飾に行話れる政府は此等の反點を押切らんさする所に困難が見られてゐる一部アメリカ敵業會議所さ連級をきり。銀の低落物價の騰貴を理由として一致反對これを任入れることに內定とついある叛態である、総も上海における支那鵬實業家は上間上海特電廿六日韓』米國の點支銀二十億オンス貸付問題に關し南京政府部内の最近の意識は大體

實業家側は依然反對

さ述べて降照、

整総政策盛に勢酷者の輸性に依る で前提し農村牧舎事は水ないこ政府の マ壁明した如く決して好 君の機に必ず不配いの財界は井上蔵相が本會 響げて太田氏の誤いようない氏登壇 はない はない

南京政府は米國の

なぜ農村と 失業を救済せぬ

歳相聲明の如く好轉せぬと 太田正孝氏攻め立つ

新りでは、 ・ は果して明るに ・ はいない。 ・ はいる。 

銀借り1

八れに内定

だてない

▼… 『東京特體廿六日経 廿六 一會委員は大日奉六氏外四、五名し 一個表別のスピード委員會であつた、政友の のスピード委員會であつた、政友の

駐屯軍撤退問題も注目さる

各國單獨で移轉せん

京城及平鹽へ出張を命す 原田 開東職事務官 源田

朝鮮公立高等普通學校教諭 新鮮公立高等普通學校教諭

後当

世界 (1000 1000 1元の 1000 1元月末 (1000 1000 1元月末 (1000 1000 1元月限 1000 1000 1元月末 (1000 1000 1元月 (1000 1000 1元月 (1000 1000 1元月 (1000 1000 1元月 (1000 1000 1元) (1000 1元) (10 は一一一一

安高引寄值值值值

市

重要法案提出督促 與黨が幣原首相代理に

電話番號

夕 2

> 内地株小聢り 常市强保合 常市强保合 高度新は七十錢高大新に八十錢

況(井代)

製鐵獎勵法

假調印電信協定の 連入港議定のはるびん丸の主なる【門司特電ニ十六日整】廿八日大

震東京二十六日 安電通」 政府は二十六日正午院内に際語を贈さ年後 松氏の響吐粉事性の質問に繋ぎ午後 では、本語院本會語に立むにつき濱田園 が長いの他を打合せた

不平等條約

社

說

を得りここになるのである。不平一ざの存在を根絶するここに努力すに對し相害、深き不安を抱かざる 去な論する手前からするも馬賊な
討伐し得りさあっては支那の治安 等條約の撤職を叫び治外法機の撤

るのが支那當局の義務ではあるま し建設せんこしつ、ある支那のころのが支那當局の義務ではあるま し建設せんこしつ、ある支那の

井上蔵相 奥銀のパラシスシートについてお尋れあったが左機なことはお客へ出來ね

霧社事件ご

陸軍の見解

霧社事件答辯

したに過ぎぬ

はるびん丸船客

打合せ

散・電騒裡に

危く混亂

野黨鋭鋒を

濱田國松氏霧社事件を糺彈

本田氏 井上蔵相は質問の筋 からなかった事は遺憾である 附からなかった事は遺憾である を答案して降壁太田氏再び登壁 井上蔵相は質問の筋 かった事は遺憾である

本 れず東京で 様である、失業会は 様であるが、大業会は ない然にであるが財界に立一度で 変が、大部分 ない然にであるが財界で ない然に有ります。 ない然に有ります。 ない然に有ります。 ない然にであるが財界で ない然にでするが財界で ない然にであるが財界で ない然にであるが財界で ない然にであるが財界で ない然にでするが財界で ない。

事件は先方から機関であるから一 国を関行動を以て難じた法だが軍隊 の本分は戦闘行動に出るのは常然であるが個人の暗闘行動に出るのは常然であるが個人の暗曄されが東隊 の戦闘行動につきいる/ 社評 があるが個人の暗曄されが変形氏の の戦闘行動につきいる/ 社評 があるが個人の暗曄されば良いかあらかじ 虚迄行動すれば良いかあらかじ とこれではない変調による富数の事を は總督の要請による富数の事を

中の 原東京二十六日 東京三十六日 東京 一下の は、 この は、

綱紀問題で

津雲氏の八

ハッ當

毒舌三時間十分に亘り

四相登壇して答辯

豫算審議

進行作戰

京へ

◆大田黒英記氏(辯護士元檢事長)

**沙** 票 强 調

兒呼吸器

病

0

肋骨が水平

日

肌色化粧時代

白く塗る時代は

2

現

テ

が場と水平でありますが、大地質が強と水平であります。 部に脚骨の工合が大人と遠ふからで、一覧左右の脚骨に搭鞭して輪を残って唐ります。 黎見では此の

乳幼兒の呼吸 豫防 **夏** 湖川昌世氏 と手當

談

(=)

呼吸器病の

五元元

道錢[

▼…近年 毛彩編物の流行に ここが歩くありません、そこでもつて来ますが、ごうかするさ質の ければならの事を左に揚げて見まって来ますが、ごうかするさ質の ければならの事を左に揚げて見まって来ますが、ごうかするさ質の ければならの事を左に揚げて見まって来ますが、ごうかするさ質の ければならの事を左に揚げて見ま

▲創作

にメデウムかダークかうまく使は

毛糸の選び方

どんな毛糸が

ょ 1. か

趣味としての横笛

||厚化粧||の場合は特

は全く此の短紅の使び方が傾によって來ますが近性能や概念の知の使の方が傾にを記して來ますが近性能や概念の要が趣 にしる洋製にしる仕上げは何さ いません、特に洋製の場合は灯 りません、特に洋製の場合は灯

をは続て東京に変りをへすればよ をは続て東京に変りをへすればよ をは続て東京に変りをへすればよ をは続て東京に変りをへすればよ 吉敦沿線産の

珍らしい樹木の標本 滿蒙資源館に陳列

ははすつかりすたれ、今頭耶かく にはすつかりすたれ、今頭耶かく にはすつかりすたれ、今頭耶かく もう過ぎた

合には特に注意な要します。一際などにハタキなかけたりす

がありますから、男物のスエターとって居ります。純毛でもさはつてして居ります。純毛でもさはつてしるさればつくやうなのがありますが、こんなのは彩から油が投げさって、こんなのは彩から油が投げ

たが「有難とこ

前の吊皮にぶらて

□麻雀が如何に不 については麻雀に耽ってあるか たち自敷してあるか すら自敷してあるこ さであるが、麻雀が ライブラリ 麻雀は不健康な遊びだ 談

かいまってぬる施士 の離上で勝敗に緊張 した結果其の場に血 になる。 「一碗でも同氏は自 ない 一一碗でも同氏は自 ない かざの かあるのだから世の 中には麻雀のために がごの位あるかられ

感想断

の男がさつさこ

ない其の中に電

でではれている人は を奪はれなくさし健康。 を奪はれてるる人は れを思ふさ順番は質 れを思ふさになってい、そ

◆…ある新殿者の連製である、た。 ◆…ある新殿者の連製である、た。 も彼に要黙する前から考へてる なかったわけでもないが、友達 なぎが来た時自分の妻に麩して なぎが来た時自分の妻に麩して イコラ式では妻の人格を無視し

小児科十大博士。夏言兒心



▲美味しい揚げ物、鍋物、變り飯人子供の耳と鼻の常生畫報

気の利いた 裝飾 小崗子、沙河口、奉天小西關、俘家甸 N.XX

店 長春、公主嶺、哈爾賓、靑島、天津、安東旅順、營口、鞍山、奉天、撫順、開原、四平

大連市大山通十一番地 電話七一二・振替(大連)1110

資本金壹千貳百萬圓

車研究所





鶴 壜 詰

動物の微端が流行り出した「ごうですこれは、一寸酸は、酸物でごろそれが室内装飾品にまで現れ、驚風のやうなキテレツ機まる平凡や常套ではトテモ諸是出來ない実職人のグロテスク趣味は近

かくしがすたれた結果さして取のかくしがすたれた結果さして取のお他紙が必要になって登りましたしかし、給り率やかにお他紙をするさ酸のお他紙が明立たなくなり

表現

代りに温かい半乳、沸落、茶類をおりますが、湿かいパンチは氷のさ 冬の飲料

飛ぶた一ばいに充たします。 かしオレンデ、ウイスキーが加へかしオレンデ、ウイスキーが加へ かしましたが、かんがいで、からます。

振動は禁物

てもおからな趣味もあつたものではあるありませうがナ」と読者をつかまへて疑り悦に入らうさいふ、さ

を現はす

間もなく 職職します されて金融又は炭素 されて金融又は炭素 くて排棄が不十分ですからフィラ

施工費共 尺角半1.80

電3099番+大連

電球の壽命

▼…子供、の脱に着けるものなごに適します。同じ純毛でもスコッチなごは嵩のめい物監ですが、手ざはりも粗いのが練監ですが、

無顧井庵) 機会に自分の姿を

廣場までくるさが、 の帰途三號系の電

紫外線透過窓硝子

重くなります、良いものは軟かでの多いものは軽く、織の交つたものはできるは、一の多いものはご良賞で、師ち続毛

他人を眺める時の ・メスのやう

願書編切は三月十六日、眈朧は二十三、四帰は、人學資際は高等小學卒業、試職科目は國語、築術、學本業、試職科目は國語、築術、學本業、試職科目は國語、築術、 さ思つてゐます、遞信局の講習が、將來電氣技術員になりたい私は電氣學に全く無智な者です を息部の電氣料が最 のでう御希望ならば のでう御希望ならば 職準備教育で入會者 技願試験の受験者型

工事職業教育部の顧書提出期、 入學試験期日、入學資格、試験 科目、及制限年齢等お教へ下さ い(市内K生) 職業教育部入學 るでせうか(春日) 電無技術質の識習會

新界の権

白

▼何事によらで御相談に贈じまず マ質問はすべて幅響のこと

佐々木邦 自動車用レザー 巾七十五吋モノアリ







安

ウム、こんな話しある

すって、東京の方からで開西のが、一年、東京の方からで開西のが

電燈採用と服装統一

F

仙石總裁車中漫談

鐵道の想出

組合招宴

信用

驛の 牛乳值下 要東代食店組合員は信用組合を設 を東代食店組合員は信用組合地等 を要求人會室に在受新聞記者有志を 標深し換露宴を融つたアザートコースに入るや字事多信用組合理事 したが二十三日午後五時中から 要東八會室に在受新聞記者有志を を聴覚なる接換載に概率報告をな したが二十三日午後五時中から

で要する問題であるだけに各方館 研究の件 明究の件 の格十數性に重つて居る機様で あるから要東さしては何れら緊急 の格十數性に重つて居る機様で

は中央を車道に開贈は歩道さ定め であるが終工費は城七萬間で新樹 は中央を車道に開贈は歩道さ定め が終工費は城七萬間で新樹

変陽の初年兵入隊式 陰陽駐割歩兵第二十聯隊の初半兵入隊式の景、告論を崩潰しつ、あるは細田聯隊の上十聯隊の初半兵入隊式の景、告論を崩潰しつ、あるは細田聯隊の長その右は日露戦役の際途陽城一番乗りの動力ある福知山聯隊の

それが変がから合性したさ云ふ 一般し「海母に職者の練塵はえ、」 に乗り合せた大臣がこれを見て感に乗り合せた大臣がこれを見て感 機械は夕食のフォークを執りなだ

「その時分離数は鐡道で何なして

機械だ。そこで網島秘書役が

それで錬道でも既へば軽長の服装 ちやつた、殊に関西で馴来の區別。 ちやった、殊に関西で馴来の區別。 だけに社會答が配地に萬事が不総 を で、それだけに同じ銀道と云 で、長、土、肥と低別けがあつた にで分また窓腮の勢力が盛んで で、長、土、肥と低別けがあつた。 で、長、土、肥と低別けがあった。 汽車は器々さ驰る―― たものちやて V

そこで機はこれも多分明治二十六七年ごろだつたさ愚ふ――歐米の一世年ごろだつたさ愚ふ――歐米の一世が一さ一次からない。 佐藤 はいかって、 から谷 にない から はいかい から はい から は 長の服装を統一したのちゃ。 て使の不思議も感ぜの程だった。

は何處です?」 「さて確か緊田ちやつたかな」 「矢張り囲存鐡道で? 「然うちやれ、 「いや、日本鐵道會社の依懸に依

間のレー

ルちゃし

利根川から職島ま

政上困難ださ反撃した事質は確に「イヤ、其驚時國民艦の連中が財

「其際事 質は なかつ たのですか

我が固有鍛造の廣斬實施論者ださ

際朝気を主張したし、其後明治四「ウム、廣軌電施証は職米からの に思てゐたこさ

あったか で「新で一種、我が銀道の殿軸問題」 でいふものは何うなるでせう?」 でいるものは何うなるでせう?」 では下したのは何うなるでせう?」 では下した。 ではそり強した。 ではそりない事になったのちやな を は立ち上つた。 弾車は間もなく名 は立ち上つた。 弾車は間もなく名 なかし

現銀輸出過多か 現在では銀資不足 正殿のてゐる、寒に地場に然でも 類を禁しつ、ある關係から地場に 要ら蜒起され麓正前地場。要日萬 では上海に地とて教三國、大連 がては上海に地して教三國、大連 がては上海に地して教三國、大連 では上海に地して教三國、大連 では上海に地して教三國、大連 でも、要は一郎日本の一部では では、大連四十五個 なり銀不銀の上職さなつて今番に なり銀不銀の上職さなつて今番に なり銀不銀の上職さなつて今番に 售正の決済に支障 路に樹蛮科金教金國羅那比較に左照和五年度中の笠東層觀場層類數 の通りである の事さ思ふ。 の事さ思ふ。 の事さ思ふ。 の事さ思ふ。 の事さ思ふ。 の事さ思ふ。 の事さ思ふ。 の事さ思ふ。 の事をとないましたが。これ は、機楽順では源標に吹鳴して居 かつたのか、只今の處では頻燃し ないから、特にそんな書きだなし に調である。 るのであつて、蛇籃の遊覧は一選逃した場合なごは、棚に宿

=

七

て完全に賴寄せきなり、この疑態連維申七十二兩一五の根場より観

前の決済については極度の

滿鐵設備研究會

廿八日驛長室で開催

年

二、七四四元 八、〇七二元 九、〇九〇元

斷わる不都合者

けたものが一人それから郷軍に二十年も會鼠さして名を連られて居りながら「他り表験までされて居りながら「他で確が無ければ止むを得めがあるこすれば御殿を繋りたい」さ素線さずれば御殿を繋りたい」さ素線である今回の凝智に郷立完備 サ六日 製行した第四大隊の攻防衛 で無は艦車と属長の戯力で決定したが電響の際身は属長の戯力で決定したが電響の際身は属長でありにおいます。 で兵士に風邪を引かせては非器ない。 で兵士に関する市中にその攻防衛 市民から批難さ

意し大いに難様に発むる必要があ 中骸後等は容易に出來りので非常 時に於ける場合な虚り根津大隊長 時に於ける場合な虚り根津大隊長

近〈送電開始

連山関第四大隊では本月二十三日 がら二月一日の間蛤延黙、九連城等に於て献寒行車蔵智を開から監地にても昨廿六日或防護智を開からなりになって大隊より なりしたがとれに就いて大隊より 耐寒演習を 支那側に通告

を加料率に膨動を興へ減をえいる 参加料率に膨動を興へ減をえいる

満鐵婦人社員の 奉

では、 は に 移り 概要 を からトルストイに関する 古の 教 密 を 配めて 年後八時 で の 教 密 を 配めて 年後八時 で の 教 密 を 配めて 年後 八時 で の 教 密 を 配めて 年後 八時 で の 教 密 を 配めて 年後 八時 で に つき 名 土の 家 液 と から 考へて も 又 同 に つき 名 土の 家 液 と 摩 と が し が は し で に の き 名 土の 家 液 と 摩 と が し か と 吹 と で を か 人 肚 飯 と で を か 人 出 飯 と で を か 人 出 飯 と で を か 人 出 飯 と で か

所州日報奉天支社 新聞社

會な開催したが露日は天候快喘級一ち同校々庭リンクにてスケート大





## 大懇親會

廿五日奉天で開催

う云ふ跳し世つた際ですな」

大変さんは當

聞えぬ霧笛信號 關東廳海務局長 

第三には離備ので、第二時難見の

今ラッパ吹奏の脱動力について調 に機能な愛事し得ないのである。 に機能な愛事し得ないのである。

温も水下降したので蒸製者酸る郷

治輝で御旅行の事 は

ジャパン・ツーリストピュロー 電話五五五五四八大連市伊勢町角)

何でも御用命下さい

二十二日大連入港の定期総香港、大学うじて事なきを得た事態は、1000年の表演を表示する。 日夕でによって歌者諸君も御存知幸うじて事なきを得た事態は、驚 本職の海貨でない乗客でも、

山島の霧笛が故

三山島 六馬力 同二海里以內 圓島 八馬力 同一、五乃至三

山東高角二〇馬力音響到達距離

の大型船が、全速前 かる可らざるものがある調だ。 まて、今回の未然の寒度の原因。 たる「睫えざるか無低端」さは何でいた。 このラッパはなければ、船は締いかく通航する場所にラッパな鳴らして、ことは何處そこで後の灯、買者の松である。 おがら、いつまでも酸液しなけれ 大連海附近には然らばごこにこ

し得た次第さの

竹内氏の意見かどう

でできないが数を識さなくてはご演事が起きは、不完全な影像ならば響るを催し多数のかがまなで、二十三日)も大連演務が起きれた。や歴、知様とでは、不完全な影像ならば響るの主権で要談會を催し多数のが起きば、不完全な影像ならば響るの主権でを認っては無違のない。

無いないがスミか云ふのがそれで 様それんへの繋がか、る。霧さか がよる。霧さか り 関島、黄白嘴はモーターサイルシ式、三山島は腰腰型があるかと云へば かって、之等の低號を辿りつ、 野面島、黄白嘴はモーターサイルシ式、三山島は腰腰型線式、老 式さ記憶して居る。

歌 こー 明にオーターサイ 歌戦戦さ云のて大砲を打つ方。

既然が起るのは、主にごんな鉱に然らばこの影備について、時々

に、二三十分の

守備兵の散宿を を使用せよ」と云つたやうな女句を使用せよ」と云ったやうな女句とて新規送電の支那電燈を取御せ」「配

傳達を乞ふ 傳達を乞ふ の滿電需要家谷和に配布したさかならべたパンフレットな藝市部 家店

3

近いの書配があつたので米澤領事は 守備隊 耐寒行軍 0)

教専問題で

カメラ

良品現金安賣主義

山 口 一

商

精

等組織

全滿大會を開催

初年兵到着

廿五日代表の報告會

海陸鮮

軍 類 御 蒲

問用

町

接替口座大連三八五四番 旅順朝日町市場內 店 三二番

四中隊長代理(大磯中尉)は大隊四中隊長代理(大磯中尉)は大隊 一、軍隊は以前通告せる如く行動せざる旨を記し 、承認を得る議にあらず通牒する 支那電燈廠 発しる。最後に回答などふ まが恰も此の行 は日露成盛に於さ 卒九十名以芳賀 十九日迄が戦び 質中隊長北終の下に一大隊第一中隊の將 石に依つて有名であれてある。黒海 整整 輪に

次の行車は先輩で 

に入った

旅

順

時間ででは、 一般ででは、 一般では、 一般ででは、 一般ででは、 一般では、 一をは、 一を、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一を、

歌舞伎劇

座の

奉天神社の

なる。 の三二間昭和園に旅で開議する事 の三二間昭和園に旅で開議する事 の三二間昭和園に旅で開議する事

スケー

卜大會

青葉町の外山

大石稿

トヤマ石線

外山洋行特製(化粧用)

菓餅子なら 御用命の程御進物用珍菓色々取揃つて御座します 節ひ やまとすへ 青葉町 旅順名物燒饅頭製造元

ひ超特賣品 與服券並共通商品券 旅順万木町 旅順万木町 屋足服店

洋服附屬品並出類一式

各學校健光定 原 衛 期 市 乃 水 町 三 丁

山山

三服

生れた人 ● 関連 ・ 本明治町二六 軍國吉川清次氏三 ・ 東秀雄君十二日出生 ・ 男秀雄君十二日出生 ・ 男秀雄君十二日出生 水滑大 盛況を呈す 金丁町相談で 神相談で

運動具と

旅順市膏葉 英劃 服裝 堂 電話二〇七番

制 大村町 岡 青館前

街

電出

キムラ グサービ

山

歌者いた生酒を嫁んで居るためだ には聖歌この地の人々が、比較解

でなく古都に適はしい自然美の を表述の影響を下聴し、既に端を即縁 する清潔の解思は、脚々辞さなり する清潔の解思は、脚々辞さなり である。

歌したのが世界大戦の動戦だ、オ 間滑戦域なものたちもめて居た、

砂ツ

で、程は昨年中風三回認識した。程は昨年中風三回認識し

谷時を知る者の感慨に<u>地へな</u>の難懸已むない運命ではある

満鐵沿線に働らく人々

(で大) の (で ) で ) が ( ) で ( )

一着金〈中學〉二着岩田、三着佐子千五百米(高小一、二年)

組織變更

金十九點▲永小六十六

幸较

の情調が溢れてゐた、定刻午前九

激勵の静につき心學生

概察者へ可愛い酸級駆が熱狂して、この以上曜の事とて観楽またた、この以上曜の事とて観楽またる大の鬼を敷却せしむる惚があつ

偽名しては

撫

順

門通信

で整大「信マート」を 新屯、千金、普通の各校及び無中 に別電が歴典す解賦を働いて追 いの追はれつ銀盤上を馳騙する態 がつ追はれつ銀盤上を馳騙する態 百米(回數四回) 百米(回數四回) 

特産物出廻狀況

0

节件大

0

蘭剛副 関連 でラシ かける

譯

記初等科

0

学をおいる。 一学をおいた。 一学をおいた。 一学をおいた。 一部とかが明られた。 一部とかが明られた。 一部とかが明られた。 一部とかが明られた。 一部とかが明らないが市内の である。 日下取調べ中で犯 かで他人の名をかたり である。 日下取調べ中で犯 かで他人の名をかたり である。 日本のである。 日本のである。 日本のである。 日本のでも のである。 日本のである。 日本ので記 は、 のである。 日本のである。 着金(中學)三回目一者和下(工智) 小學校千五百米 小學校千五百米 時計を騙取 

場に百圃杉二松さ十圓五圓取提せ金 一本内東一番町十番地もと博愛醫院 で、「「中から十時まで」で電守にした事代。 に、「「「「で者」が前記のものを祭験された事代。 に、「「で者」が前記のものを祭験された事代。 に、「「で者」が前記のものを祭験された事代。 に、「「で者」が前記のものを祭験された事代。 本字隊長禁軸記 難に四洗 を改府より認められ近く公安院 を改府より認められ近く公安院 を改府より認められ近く公安院

五日、六日、十日郎田総通窓市内に観名の脚版がしから田霊殿店に観名の脚版がしから田霊殿店に観光であり、日本の田屋住の官民は戦大の歌々たりこ 用、六日、十日郷白線通歌市内 馬 賊 出 没 頻 々 一月二日 

畫物

語

八荒流

騎隊

(6)

東亞キネマ特

**斯原** 

したやうに

送別園差大會 満級公所 で満十五年も電民の際に介在した く和英雄同居館民の際的に戴力せ し人で其の都低速去を憎まれて居 もが、有志の豪地で二十日午後五 に終二十名、七人睡しの機能に於てと は初二十名、七人睡しの機能が活 はれ答自標意の妙技を掘りの際に介在した はれ答自標意の妙技を掘りの際にが在した。 はれ答自標意の妙技を掘りの際にが在した。 はれ答自標意の妙技を掘りの際にが在した。 はれ答自標意の妙技を掘りの際。 はれ答自標意の妙技を掘りの際。 はれ答自標意の妙技を掘りの際。 はれ答自標意の妙技を掘りの際。 はれ答自標意の妙技を掘りの際。 はれ答自標意の妙技を掘りの際。 はれ答自標意の妙技を掘りの際。 はれ答自標意の妙技を掘りの際。 はれ答自標意の妙技を掘りの。 はれ答自様意の妙技を掘りの。 はれ答自様意の。 はれ答自様意の妙技を掘りの。 はれ答自様意の。 はれ答自様意の。 はれ答自様意の。 はれ答自様意の。 はれ答自様意の。 はれ答自様意の。 はれ答自様。 はれる自様。 はれる自様。 はれ答自様。 はれる自様。 はれる自様 はれる自様

(領事館)三等焼田氏(市民側) (領事館)三等須藤氏 一等山口氏(領事館)二等須藤氏 で観説の援助あり午後九時三十分 に観説の援助あり午後九時三十分 三條大通り裏の資長屋―潜郷寺との数時から幾日から過ぎた。 その数日かの職に、八荒流験隊 その数日かの職に、八荒流験隊 を紹び合せてるた。 篇公

らす藝者君香は、かつての島田左の小類に、座敷で事々にあたり散 前さんの先の比が

邦文

昭和家政婦附添婦會電九七九九 聖高街一丁目一一三

女中

知大道書

電の ・ 金融質質に何んさ言って ・ 金融質質に何んさ言って ・ 金融質質に何んさ言って ・ で生れる ・ で生れる

電田

金融 日掛○日 金融質質

たれ。おぼへておい **罵られては一分が** か晒し台におな 英文 成優秀者は就職 英語 高等受験會話文家 英語 高等受験會話文家

| 特田順天堂 電三二〇九番 | 特田順天堂 電三二〇九番 | 特田順天堂 電三二〇九番

洋服類舊穀

電話六六八八番へ

筑後屋的店

ハリ灸専門療院

薬はヒシカワ薬局

電話二一〇四七番 電話二一〇四七番

薬と治療し

くさ階段 **登家** や炊事浴場完備院 電二〇 **貸家** 柳町八三一間五室家賃四 モミ 療治御望みの方は

大連劇場隣根本築局電七八六二 電話八二〇三番

話七八五九番 大手 クー

温速町三丁目天金横角 温速町三丁目天金横角 聖二二〇六六 圓 大連市若狹町二三二 柴田 **監院** 電話八七九〇番 (花和) 順問安部磯雄

野な病の 帯測で間告 日本養薬株式舎社 サニカ減退、生殖機能減退、貧血症 ナロ分 エ ローニケョ分 ニ面件 コケョ分 エ ローニケョ分 ニ面件 コケョ分 エ ローニケョ分 ニ面件

電話ハセニニ番

純良無比の 今井醫院 大連紀伊町二七 人参ヱキス

五球式六十五回四球式四十五回 理化學用器 帳費 順費 嚴疑 器

度量 大連市惠比須町五十八番地 演 世紀本語の一番 9770

二百五十米をきつかけに水學校は が振一次で 高の色別リレー等各プログラムを が振一次で 高の色別リレー等各プログラムを が振一次で 高いの色別リレー等各プログラムを が表示で かられたが、水學 進ふて「一グラムを が表示と を表示と を、 を表示と を表示と を表示と を表示と を、 を、 を を を を を を を を を 零時代數整測くなかに終つた、因 さ決定、それら、 電品の援奥あり 人體り平域機能三點七分で第三位 百八十點一人驚り 主なる 得點その他次の 一般山田洋行で二十二日に製油工場 一般山田洋行で二十二日に製油工場 一番 一番 三日市内西五條の一流資金縣 守

備

隊優

す

剣道優勝刀爭覇戦に

瓦

房

店

小學生二五〇米(阿數十四出場) 惡三▲千金五十二點▲永安八十 六點▲新屯四千一點 新四▲千金五十點△永安六十八 二二十一點 (高女三以上) 一分二十科五分三D二向前二回目) 三着寺西(高女) では、 ・職め其の管富の程度に態じて ・職め其の管富の程度に態じて ・職の其の管富の程度に態じて ・職の其の管富の程度に態じて ・職の其の管富の程度に態じて ・職の其の管富の程度に態じて ・職の其の管富の程度に態じて ・職の其の管富の程度に態じて ・職の其の管富の程度に態じて ・職の其の管富の程度に 農民救濟金 卅七萬元 鄭

家 屯

製更し見脱番を蹴らて何れも各戸 大の社を搬ひ來つたが近く組織を 大の社を搬ひ來つたが近く組織を 

局

春帖子 為立春試筆所作 例用吉斯 以祝一年之福 或四三詩 或七言詩 或也言詩 今年辛未明年王申 曹見清高宗王申年之春 道 話

江口なごも春叶港さして、窓沙の ・水運な支配してるた営時は、北に ・水運な支配してるた営時は、北に ・地の窓壁にからめてるたが、更に ・地の窓壁にかたの勢力は電法され ・、佛しそれも南浦蝦道の整頓す ・、佛しそれも南浦蝦道の整頓す 日 は、長屋の庭お歌が小歌さ名乗つ家に は、長屋の庭お歌が小歌さ名乗つ家に したのもその鑑で、決して土地の 自然に適應した者でなく、概でが の難したアームは、平和気後さ共 に働き権え行き、鏡線は元の鏡談 に働き権力を行き、鏡線は元の鏡談 に動き権力を行き、鏡線は元の鏡談 に動き権力を行き、鏡線は元の鏡談 に動き権力を行き、鏡線は元の鏡談 に動き権力を行き、鏡線は元の鏡談 に動き権力を行き、鏡線は元の鏡談 に動き権力を行き、鏡線は元の鏡談 に動き権力を行き、 の題お歌が小敷さ名乗つの題お歌が小敷さ名乗つ

を変べられた階下の座と

苦子真でなどします 

**※ 特職** 

三根眼科醫院

富 屋旅館

緊縮節約の折柄 特に宿料の勉强と親切町 噂をモットーと致します 大連市信濃町 鮮の物を特に選擇

池田小兒科門醫院

Ilan Kasallall 更努質與 

大連市大山通り深速町角 滿書堂文房具部 電話四九九 四四三〇六

▲総督のお土産 生意する時に監察機会に変極の 上京する時に監察機会に変極の 上京する時に監察機会に変極の が大ぶトラ でて待ち機へて居る所へ飛行機が がある攻撃な空襲を視ふであら うか高射機關鍵隊を初め新兵器の うか高射機關鍵隊を初め新兵器の がある攻撃な空襲を視ふであら 中には深山お土産の松橋が入

一個の英語で、近藤 であられて、 の本語で、 の本で、 の本で 、 の本で、 の本で、 の本で、 の本で、 の本で、 の本で、 の本で、 の本で 、 の本で の本で 、 の本で の本で 、 の本で 、 の本で 、 の本で 、 の本で 、 の本で 、 の本で

カッさなつた変りの除土、おつカッさなつた変りの除土、おつ

大学 (大学 ) 一 ( 1 年 ) 1 年

こうすこう 出来るのを呼んで来

貸家

和取締の久野の

が満崎院の双に解

ト膜をつかんだ

市門

嫌な事な云ふ で動にも馴れ

本場 大島細代引販資質物見本場 関北ら風泉 無大島郡龍郷區総岡江岩彦 アローカヌキ

立てるさアハ……あのトランクの
一下関へ上陸のランチの中で伺ひを
下関へ上陸のランチの中で伺ひを
になるのでせう

だが間違って、 腹の痩減人を相手に ・ 階下へ降りた近藤寛、総四郎の 階下へ降りた近藤寛、総四郎の 「いや、勝負は改めて・ 「揣者、長州の渡土、戸波越四郎 それを近藤男、便哉かそれを止している情報手到さう………」

「おかい さ君香、まあ 大きにお世話さ、派人はお驚眩 はこの機対引取りが腕ひ度い」 では近隣氏……では改めて…」 ていつ言ふか知らぬが、揣者の形

男が後から野か

**塵紙** 製中に家庭向編用の生産 要変元 拓茂洋行紙店

而 渡邊商天電六八四一番 品親切本位買受

白帆

品印 に限る 紙は 性粧紙は

天帆高級純生渡お使紙は

信濃町市場前

ポーズ 天榮堂

第一次 の御用命は 電話五四三九番

**宿料** 

お云ひなのかい のお客は波構さでも

「さう云ふ嘘さ、徳川さまは天下」が取つた大泥樓、だつてれ………「な取つた大泥樓、だつてれ………「

さ云ひかけた豪葉、ふさ思ひ出 「我等が魂は金銭」

めたが、ニツコリ笑つて振り返っ 「一般総四郎、その言葉に足を止 ボンさ一つ胸を軽くたといた。 いつ何時な 本 大谷商店 ・ 古着 高質質入倒報次第多上 ・ 大谷商店 ・ 大谷商店 ・ 大谷商店 常陸町 二

● ● 三行回 ◆ 十行回 ◆ 日本行回 満日案内 生态金九 拾金金九 拾金金 六 拾錢 國五拾錢 國五拾錢 國 貸衣 裳

思給 利安く最も永く 大黒町一二四 仁芳商 行大黒町一二四 仁芳商 行 商品電 電話と金融

六八四六番へ御頼致しまず本人直接貸電話致しまず 月賦賣も御相談に應ず 月賦賣も御相談に應ず 

東海察 電話三六三番 共濟察 電話三六三番 共濟察 電話三六三番

Ш間

行通紙種

洋

カ

0

◆ 大

本 シ 酒 大 近 山 か か 酒 大 飯 天 龍 山 か か 酒 大 玉 田 山 か か 酒 大 玉 田 山 か か 酒 大 玉 田 山 か か 酒 大 玉 田 山 か か 酒 大 玉 田 山 か か 酒 大 玉 田 山 か で ま

製 大 連

紙

各

皮 膚 病 機尿生殖器病

濟生醫院 ●電話セハバセー

がタークリーム 大連牛乳株式會社 食事を具共月廿七四の割 ・ 合音事や撰永滞在尚勉強 ・ 会事を具共月廿七四の割 皮膚病 性病 軟性下游病 院醫中野一咖啡亞斯斯斯

イワキ町 新古寮 電七四三五 京島電影骨董

譲店

会事務所 電三四八五番 解関に付譲る 大連飲食

牛乳

シン店 電六六八四 常盤號 常盤號

牛乳 バタークリ

三チ ロパン 電話

姓名在社

電八六七五番 

三河町 池内

大連市磐城市五八 南族皇眉山 大連市磐城市五八 南族皇眉山 | 一〇 | トマリ、ペットの設備あり大勉強は名古屋旅館 | トマリ、ペットの設備あり大勉強は名古屋旅館

一七一一世 世

お安くお泊りが出來る 観 持よく 氣 輕く 南滿ホテ 電話二二六五七番 話 五八一六番



工)

南

200

0)

| 電氣遊園の元気な狼グン

木谷、石原、河村等の参加を見な リンクにおける第八回全派洲水上 選手權大會が振はなかつたことは 些か満外だつよ

大會後記

**全滿** 氷上

選手權

第七位にな がら真面目 がら真面目

フイガーは従来に此らやゝ進歩な 見せてゐた、一般にスタート及び スタイルの研究がまだ充分でない、 せめて五百點滿點のさきに四百點 を 量を獲得する様になつてほらい

全国の大會に於て苦々もく感じた ・ことは役員諸氏が時々大撃を發し ・一ルに居るタイマー、或は決勝審 ・利員等々は公平なる立場にある。 ・一のみを應接するここはすでに他選 のみを應接するここはすでに他選 ののを放った。 種の酸狀は膨然止めてもらひたい

着末、定刻より連れることを約一 ではまだ非雪されて居ので役員並びに選手が八時四、五十分環癥々さ來場 とたがリンクは未だ非雪されて居の をすぎ力が盛んにはきたて、居るの ででである。

のり、サロンで語るを立立ふ人の體格檢查に宣入校を本業とて滿滅に這入校を本業とて滿滅に這入大學専門學校等をよりた、大學専門學校等を

日

結核療養所長遠藤繁清博士は本月

滿鐵入社志望者

運動家が案外に悪

遠藤結核療養所長歸任談

間格 で

断る

一度一氏能のに問題化されてゐる常見組合協議員會に出席中だつた大連支部長濱尾保氏等

化粧されたばいかる丸

時化のため約六時間遅れ入港

珍らしく豊富な話題

ふから向ふ五日間

べて無限に眠いてるる等段しか一様性聴言は今や寒市一様に蔓延一様に悪難を極め一家枕を存性聴言は今や寒南一様に蔓延

| | 第したので単模部様はが論、関東 | 第したので単模部様はが論、関東 | 第したので単模部様はが論、関東 柳樹屯馬水子の殿水學

水晶宮の 校および普顧店、魏子窩の各小學 

邪何れか

ておくわけにはいかない」を特然 さ目さる、自用を一成一版における大事性 では、サロンで語る では、サロンで語る では、大事性の公明に間に合 では、サロンで語る 氏はつの事性を謎のまい 太田黒氏來る

大連出泉三大世出身の 大連出泉三大出の都を披師 理した艦等に対しながら水。 理した艦等に対しながら水。 理した艦等に対しながら水。 を放け、そんなしので大きに対してするといるをうだが、そんなしので大きが、そんなしので大きがのするとのがある。 が出事で立川の方に居ります、 を変けい位の用意は出来てもよって作る が大連出泉三大出の都を接近出来なります。 を変けるというを変がありり大々姿 用ひ日本から技術者が行つてるます。 をあるそうだが、そんなしので大 よい事でなり、そんなしながら水。 無の確空を耐り数達したもので大 とたが出ませんけ本の をあるそうだが、そんなしのさは全なが、そんなものさは全なが、そんなものさは全なが、そんなものさは全なが、そんなものされる。

貨機萬能の器はとにか

勞働者階級

移民は駄目

荒井一等書記官談

會社員 一般俸給取 一八 管業家 一八 一一八

海外發展については南米アは一寸さ合はない元來自本人のは一寸さ合はない元來自本人の概念もので歐洲生活は一寸さ合はない元來自本人の概念という。

御講書始の儀に 御進講の光榮を語る

鈴木梅太郎博士

大意養で延済しての他職に一二月號は 藍綬褒章拜受 愈よ柴田博陽氏

けた光要の鈴木梅太郎博 ・フィッシャーの事験さ ・フィッシャーの事験さ ・フィッシャーの事験さ ・フィッシャーの事験さ

前大連然東病院理事長整田標為 に何大興然時社會事業功勢者とし ・ て起きあたりより監観発撃を瞬り ・ て起きあたりより監観発撃を瞬り ・ 大連然時社會事業功勢者とし

抗議が叶ひ民政黨大滿悅 は、正孝原士の震戦な新夫人が共君の 施護部に見入つてるた、三土、武職 が一様夫人の舒戦さ併せ今職會におけ る家庭職滿の三福對でゐる

中九人、巡捕三十六人であるさ 中九人、巡捕三十六人であるさ 中九人、巡捕三十六人であるさ 警官精勤表彰

時でられよいがもで申込次第令即 東京西東鴨川一七四 東京西東鴨川一七四 東京西東鴨川一七四

標商

なかつたが
これらう
これがつたが
これらう

石炭泥棒を防ぐ

滿鐵販賣部で計畫

を使用

ーリゼ党

セボホミワリストマワッンシーシートントンス

ペーガンデー
ワインセリー

8

本各地名産

珍

カナナル ワインセリイ

會社員萬蔵・お

酒飲み眞ツ平

巣を

山川顧問官

胃潰瘍を起す

の花婿選び

醫農藝政 師業術治 家家

四四数、大學卒業程度と明記したのが 一二十二名のる、灣飲みは經難いけ 一本いと強く出たのが過代数で離こ 上十二名のる、灣飲みは經難いけ 一本いと強く出たのが過代数で離こ に強大である 一本ので過代が、少しは機はねさ大い が、少しは機はねさ大い のが続代数で離こ に強大である

れて居る

今頃に手打の式

やつご百廿六年目に

容

發兌 康南東京七三二

婦人祭 朝 中に婦人僚 野兩黨公平に 防聴席を一

仙臺で軍隊へ

新くない。 一次が大きに関い流音を活動の傾利は細胞致します。 一方に限り流音を消しても未納積立金全額御拂込の御 一方に限り流音を消しても未納積立金全額御拂込の御 一方に限り流音を消している。 一方に限り流音を引きる。 一方に限り流音を引きる。 一方に限り流音を引きる。 一方に限り流音を引きる。 一方に限り流音を引きる。 一方に限り流音を引きる。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に限りまる。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に関いている。 一方に見る。 一方にている。 一方にて

源田財務課長 科 内科兒小 月號

院醫原相 卅五 錢二點

鶏の研 內

を及む 東京九三二六一 3男の 研究 社会 では、 一次 では、 一 安くて丈夫で暖い コール天服/紫虹順計・殿より 年 海 スピード時代の活動服 實 洋 藤二 スピード時代の活動服 實 洋 藤二 THE SUPPLIES OF THE SAME OF TH 安くて丈夫で暖い 

調整の開発を表現しません。 吉成製版所 電話三六九一番・ さん 高 原 石 版

フォルスター アプランド及 アプライト 登

主要代理商品

チューリン大連支店

皆様お待乗の 先づ健康に 一瓶金一圓廿銭 地方は小包料一瓶に付二十七億 地方は小包料一瓶に付二十七億 大連市浪速円一四日十七億 總代理店 日本賣藥會社 SANDERS NATURAL DESCRIPTION OF THE PARTY OF 銵 無代進星本

生徒募集與其次次十万万

速 記 科科

整部通九六北侧裏

曹話四三

界各

图

酒類

食

料品

大連大山通

東京風菓子謹製

獨逸最高級

ピア

総米野に入るさ共に張炭素の電」使用する密であるさ に解年頭を悩ましてゐるが、今回 成織が良ければおひく〉客方館に に解年頭を悩ましてゐるが、今回 成織が良ければおひく〉客方館に は大惣五十圓見驚のシェファード でが、新頭販賣部にてもその防止報 五頭を購入して調料をする記畫で は大惣五十圓見驚のシェファード

みも

次と二十六日民政警長順機間で祭 田氏の放人佐藤純桃その他二三名 ・ 会等島署長の手から再び祭田氏 ・ の手に懲受された る関尾宮内水官の内蔵な受けた苦 模範

後十五圓四冊三典特人 番○○三一京東替帳 単番六十四種六分市京東 部版出校學車動自 ヤイバンエ 業卒月ヶ三 **袋十五圓五** 位本解 四由自問質

目種品商扱取

歐大質 

工 専問の輸入卸

紙°チョコレート包装紙°其他菓子材料原料一切のトフキー各種其他洋酒類°ココアバター。セロフアン原洲産バター。ミルク其他食料品一切°A、B、C會社ソーダピスケツト°バターリンのチョコレート。マーレーリ 英雄詰類、リブトン紅茶°ベトケ印ココア。ベンハー野菜罐詰類、リブトン紅茶°ベトケ印ココア。ベンハーサンメード印乾葡萄其他乾果物°リビー印果物、肉、魚肉サンメード印乾葡萄其他乾果物°リビー印果物、肉、魚肉 意々御眷顧を垂れ賜はん事幾重 型援の賜に外ならず年頭に際し では、 では、 の場に到れるも皆江湖諸彦の御 では、 の場に外ならず年頭に際し のののの。 のののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、 ののでは

